

いづら祭



松原かわら版

世帯数 1,278 戸
人口 2,981 人
高齢化率(65歳以上) 29.7%
(令和6年8月1日現在)

松原の夏の一大イベントである「いづら祭」が7月27日(土)に開催されました。

昨年はコロナ禍の影響が落ち着きを見せ、各地で様々なイベントが復活している中、いづら祭も4年ぶりに開催となりました。今年も多くの方に参加いただき、子ども達の笑い声が飛び交い盛大なイベントになりました。

これからは、コロナ禍前に戻すべきものと、そうでないものが選定されていきますが、多くの方々が楽しめる「いづら祭」は今後も松原の一大イベントとして盛り上がりを見せるでしょう。

- いづら祭に訪れた方や出店者からのコメント
- ▽孫が初めてお祭りに参加して、たくさんおまけをしてもらい、親子共々笑顔で楽しいひと時を過ごしました。
- ▽いづら祭は子どもが安全に楽しめるお祭りでありがたいです。
- ▽お店に来る子どものあいさつが気持ちいいですね。
- ▽中学を卒業してもこのお祭りで同級生と会える機会があり嬉しい。これからも続けてほしい。



賑わいの様子



今年も中学生ボランテアが大活躍!



松本市消防団第16分団のご協力により実現した消火器ゲームコーナー!
参加した子どもからは「消防車と写真が撮れてうれしかった!的当てゲーム楽しかった!」と好評で、子どもが楽しみながら防災に触れる良い機会となりました



キッズダンス、フラダンスも大いに盛り上がりました



放水訓練

7月7日(日)松本市消防団第16分団にご協力いただき、放水訓練を行いました。近年、日本中の防災意識が高まっている中、いざという時に実際に動ける体制にするには非常に重要です。今回の訓練のように実際に放水体験をすることは重要な機会であると考えます。



ちなみに、日頃私たちの安全を守っていただいている松本市消防団ですが、寿地区と松原地区は

第16分団が担当です。しかし、松原からは団員が1名しか加入していない現状のため、ご協力いただける方を募集しています。

■消防団員募集のお願い

(松本市消防団第16分団)

分団長 原 和章

日頃より消防団活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。我々、第16分団は、寿、松原地区を担当しておりますが、消防団員の確保が深刻な状況にあります。消防団に入ってくれる方を募集しています！

特別な資格や経験は必要ありません。火災や災害時の初期対応、地域の防災活動、訓練などを通じて地域の安心・安全を一緒に守りましょう。

松本市消防防災課
(0263-33-1191)

高齢者食堂

高齢者食堂(団体名:スタート)が7月16日(火)町内公民館で開催されました。

当日は生憎の小雨模様でしたが、お一人又はお誘い合わせの方々が次々来館されました。来館順に配される、温かい御飯



とお味噌汁・主菜・副菜の献立は有志の方々の食材提供があり実現できたとの事です。

食事中も食後も静かな話し声が絶えない和やかな一時半であり「今度は鯖の味噌煮をお願い」「肉じゃがも食べたいな」と次回のリクエストも出る楽しい会でした。



「食事と会話を楽しみたい方には是非来ていただきたいです」とボランティアスタッフの方々も笑顔でした。

まつばらのできごと

7/30~8/7

ラジオ体操旬間

夏休み期間中、松原中央公園で元気にラジオ体操!皆勤賞の子には公民館からささやかなプレゼントを贈りました。



8/2 収穫祭~夏~

公民館の小さな畑で今年もじやがいも、ミニトマト、ナスを栽培し、参加者全員で収穫をしました。



▲黄色いミニトマトたくさん取れました。

◀みんなで美味しくいただきました。

8/8 子ども自然体験会

21名の小学生と中学生スタッフ5名を乗せた市の大型バスは奈川にある高ソメキャンプ場へ向かいました。

夏休みを利用して、自然を体験してもらうことを目的とした公民館の講座です。

ポトフを作るために持ち寄った材料を、手分けして洗ったり刻んだりした後、釣り池でマスやイワナを釣り、釣った魚は昼食で食べました。食後はロープの遊具で遊ぶ子どもや、火起こしとそれぞれ体験しました。

時間に追われ、プログラムは計画通り実施出来ませんでしたが、子ども達の笑顔と、怪我無く無事終わったことが何よりの救いです。



私の初登山は、二十歳の頃に姉と二人で登った白馬岳でした。アイゼンを履いて雪渓を登り、登山の楽しさに目覚めました。

北岳に登った時には、誰もいない頂上で、雷鳥を相手にのんびりしていると、突然イナズマが光り、バリバリと雷が鳴り響き、必死に肩の小屋まで駆け降りて、山の恐ろしさも知りました。東北の山に行った時の宿泊先は古い納屋の造りで、地面にムシロのみ敷いた寝床でした。茫然としましたが、オンドルの様に温かく、貴重な体験をしました。

社会人になってから丹沢に独りで行き、翌日、出社すると先輩から「昨日、山にいたよね」と言われ、すっぴんで鼻をかみかみ歩いた姿を見られ、落ち込みました。それから、同じ山好きな夫と、美しい山々に囲まれた松本に、住居を構えました。因みに会社の先輩は、山に縁のない可愛い後輩と一緒にになりました!

(編集委員)